



天文台だより

銀河の森天文台
2018 秋号
Vol. 81

第10回陸別スターライトフェスティバル大盛況！



講演会でお話する山崎直子宇宙飛行士

7月7日(土)、天文台開館20周年記念イベントとして第10回陸別スターライトフェスティバルを開催しました。今年は、山崎直子宇宙飛行士をお招きして、講演会「宇宙から見た地球」と陸別&足寄町小学生による質問会を開催しました。陸別2名、足寄4名の子供たちから質問がありました。

今回は例年とは違い午後3時からの開催にもかかわらず、250名を超える参加者があり、イベントは大成功でした。講演会後もサインを求める列が長く続き、山崎さん人気の凄さを改めて実感しました。

また、屋上広場には屋台が出て、鹿肉カレーや鹿肉ジンギスカンのどんぶりが大好評でした。



山崎さんに質問する子供たち

「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

30年ほど前、ベトナムのハノイを訪れた時、市内のはずれにある小さな湖が小雨に霞んでいました。ふと横を見ると、湖畔にはレストランがあり、幾組みかのカップルがフランス料理を楽しんでいました。今でも思い出すのは、そのレストランの名前、Planetです。



(上出洋介館長)

プラネットとは、ご存知、「惑星」のこと。そのロマンチックな響きは、物思いに耽る秋のテーマと共通点を感じるのには私だけでしょうか。ところで、Planetの語源は、ギリシャ語で浮浪者のこと。今秋も、「はやぶさ2」など天文現象が目白押しで、ファンを退屈させませんが、中でも金星が最大光度(-4.6)に達するのは惑星ファンには見逃せません。太陽系のサイズは約100天文単位。

「夜空の星はすべて地球を中心に廻っている、つまり宇宙の中心は我が地球様」という天動説では、何万何千という星はきちんと並んで規則正しく行進しています。しかし、たった5つだけ、この整然とした軌道を乱す星があり、これらが、哲学者プラトンによって浮浪者と呼ばれた5個の惑星でした。惑星は、地球の近くにいるので、他の何万何千の星と違って見えたのは当然のこと。そしてこれら5つの浮浪星を含めて天体の運動を矛盾なく説明するためには、コペルニクスの地動説に進まざるを得なかったのでしょう。それにしても、今宵は浮浪者という趣ある名前のレストランでデートですか。

6/16、入館者数20万人達成！

6月16日(土)、銀河の森天文台の入館者が20万人に達しました。記念すべき20万人目の入館者は、北見市からお越しの藤田様ご家族でした。藤田様には、野尻秀隆陸別町長より記念品が贈呈されました。

天文台は1998年(平成10年)7月7日にオープンし、今年で20周年を迎えました。そんな中、入館者が20万人に達し、スタッフ一同感謝の気持ちでいっぱいです。

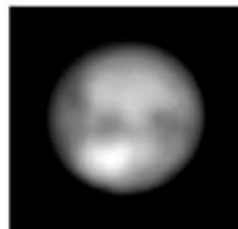


野尻町長と藤田様ご家族

これからもご来館者の皆様に楽しんで頂けるよう、スタッフ一同頑張っ参ります。

7/31、15年ぶり火星大接近！

7月31日(火)、火星が2003年8月27日以来15年ぶりに大接近しました。この日は天文台も特別開館し、観望会を開催しました。天候も概ね晴れ、夜空に赤く輝く火星を皆さん望遠鏡や肉眼で楽しんでいました。



2018年7月31日
閉館後撮影

火星は約2年2カ月に一度地球に接近しますが、今回を超える大接近は、2035年9月11日になります。

今年の火星は10月上旬まではまだまだ明るく見えています。望遠鏡では火星の模様もわかります。ぜひご来館ください。

暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
10月 1日	5:18	17:11	21.4	21:06	11:29
10月 15日	5:35	16:46	6.0	11:30	21:01
11月 1日	5:56	16:21	23.0	23:12	13:06
11月 15日	6:14	16:05	7.5	12:16	22:28
12月 1日	6:33	15:54	23.5	---	12:55
12月 15日	6:46	15:54	7.8	11:45	23:14

天文行事&暦

10月

- 8 寒露(24節気:太陽黄経195°)
- 9 ●新月
- 23 霜降(24節気:太陽黄経210°)
- 24 天王星が衝
(光度:+5.7等, 視直径:3".7)
- 25 ○満月
- 27, 28, 31 ハロウィンナイト観望会

11月

- 7 水星が東方最大離角
(光度:-0.2等, 離角:23°.3)
- 立冬(24節気:太陽黄経225°)
- 8 ●新月
- 10 驚き! おもしろ科学実験2018
- 18 しし座流星群が極大
(AM8時 最大15個/時)
- 22 小雪(24節気:太陽黄経240°)
- 23 ○満月

12月

- 2 金星が最大光度(-4.7等)
- 7 大雪(24節気:太陽黄経255°)
- 新月
- 13-15 ふたご座流星群観望会
- 14 ふたご座流星群が極大
(PM9時 最大70個/時)
- 15 水星が西方最大離角
(光度:-0.4等, 離角:21°.3)
- 22, 23 もうすぐクリスマスキャンドルナイト
- 22 冬至(24節気:太陽黄経270°)
- 23 ○満月

秋のイベント情報!!

☆ハロウィンナイト観望会

10月末日のハロウィンにちなみ、観望会を開催します。観望会では、おぼけみtainな星座や天体をご案内します!

開催日時: 10月27日(土)、28日(日)、31日(水)

☆驚き! おもしろ科学実験2018

北海道大学、名古屋大学、北見工業大学などの先生・学生が行う「驚き! おもしろ科学実験2018」を開催します。実験コーナーには足寄動物化石博物館も参加します。化石掘りや液体窒素を使った実験などおもしろ実験がたくさん登場します。

開催日時: 11月10日(土)

科学実験コーナー: 午後1時~6時

ミニ講演会: 午後4時~ 写真家内野志織氏

「オーロラへの想い ~カナダでの暮らし~」

ワークショップ: 午後8時~ 写真家内野志織氏

「オーロラ・夜空の撮影方法」

※ カメラをお持ちの方はご持参ください。

拝啓、天文台より - 「宇宙の日」 -

突然ですが、クイズです。9月12日は何の日でしょう? 答えは「宇宙の日」です。1992年の国際宇宙年をきっかけに、毛利衛宇宙飛行士が日本人として初めてスペースシャトルに搭乗した9月12日を、日本の「宇宙の日」として定めたものです。その記念行事の一環として、全国小・中学生作文絵画コンテストが行われています。今年のテーマは「太陽系探査隊」。陸別小学校6年生の皆さんが参加し、すばらしい絵画を描いてくれました。作品は9月中旬頃から、館内に展示する予定です。ワクワクする作品の数々を、ぜひご覧ください。そしてこれから、読書の秋も始まります! 天文台開館20周年を機に、今年の宇宙の日から図書の出貸を開始します。お天気が悪い日も、読書感想文の宿題がある日も、天文台で読書という名の宇宙遊泳を楽しみましょう! (守)

☆ふたご座流星群観望会

ふたご座流星群が12月14日の午後9時に極大時刻を迎え、これに前後して流星が多く見られると予想されるため観望会を開催します。

開催日時: 12月13日(木)~15日(土)

説明会: 午後7時30分から

☆もうすぐクリスマスキャンドルナイト

近づくクリスマスに合わせ天文台屋上広場にキャンドルを並べ、ゆっくりと星空を楽しみます。

開催日時: 12月22日(土)、23日(日)

キャンドル: 午後5時から

ペッコカめぐり「星の数」

「星の数ほど」と例えられるように、宇宙にはたくさんの星があります。その中で肉眼で見える事の出来るのは6等星までで、数は約8600個とされています。では宇宙全体にはどのくらいの数の星があるのでしょうか? かつては天の川銀河には1000億個の星があり、さらに同じような銀河が1000億個あるので、 $1000億 \times 1000億 = 1 \times 10^{22}$ (1の後に0が22個並ぶ) 個の星があるといわれてきました。しかし最近では、天の川銀河の星の数は2000億~4000億個とも言われ、銀河の数は2兆個とも言われています。すると星の数は多く見積もると $4000億 \times 2兆 = 8 \times 10^{23}$ 個もある事になります。とは言えこれも現在考えられている星の数の話、来年になると、もっと多くの星がある事になっているかもしれません。(中)

天文台からのお知らせ

- ☆ 10月より開館時間が、13:00~21:30となります。(昼間13:00~17:00、夜間17:00~21:30)
- ☆ 年末年始12月30日(日)~1月5日(土)の期間は、天文台休館日となります。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館 (銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp